第13回議会報告会　各会場の記録【大会議室】

参加議員：武田治敏、福安淳也、大橋ゆうすけ、大屋よしお、小出あさこ、吉野ゆうと、水野たかはる、小野田利信、岩渕晃久、加納やすこ、川嶋恵美、中島まなみ

会場：日進市役所５階大会議室

参加人数：47名

（表記：◇市民からの質問　◆議員答弁　□市民からの要望・意見　■議員意見）

■「持続可能なまち作りに必要な取り組みについて」を、皆様とともに今後の日進市の発展に繋がるような有意義な意見交換ができればと思います。ご協力のほどよろしくお願いします。我々の会派の議員を紹介します。20代の吉野議員、30代の加納議員、40代の大橋議員、水野議員、そして50代の福安議員、大屋議員、小出議員、60代の小野田議員、そして最後私、70代の武田です。よろしくお願いします。公明党さんにつきましては、この後、挨拶いただきます。

　我々この日進市30周年を迎え、もの作り大国である愛知県のほぼ中央にあって、名古屋と豊田を繋ぐ地域の発展とともに歴史を築います。明るい豊かな社会を目指して、これからも諸先輩方の熱い情熱は今なお我々、現役市議会議員にも引き継がれています。日進市の歴史や文化、ベッドタウンとしての新住民との調和を基に、持続可能なまち作りに必要な視点で意見を交換できればと思います。よろしくお願いします。公明党にマイクを渡します。

■公明党会派代表の川嶋恵美と申します。公明党会派は40代の中島まなみ議員と50代の川嶋の2人会派で、本日は新政ひまわりと新政クラブとともに、私達のまち「日進市の未来をともに考える持続可能なまち作りに必要な取り組みについて」をテーマに、ご意見を伺えることを嬉しく思います。

　日進市の都市マスタープランでは、豊かな緑を尊重し、都市の活力と多様な交流で賑わう持続可能な都市環境を私達が育むことを、都市作りの理念とし、五つの基本目標を掲げています。一つ目は、将来にわたって住みやすい都市作りを目指す、快適性の高い持続可能な都市作り。二つ目、時代に合った産業活力を持ち続ける産業活力のある都市作り。三つ目、地域コミュニティが維持活性化され、全ての人の個性が輝けるふれあい逃げや都市作り。四つ目、防災減災対策を強化し、全ての市民が安心して暮らせるまちを目指す安心安全な都市作り。五つ目、環境負荷の小さい環境に優しい都市作りです。目標達成には、本市における課題となります社会保障のニーズ、ふるさと納税による税収の流出不交付団体であることなどを踏まえ、市民サービスに必要な予算獲得のため、企業誘致や県、国への要望活動支援の提案などを行っています。そしてまた、豊かな自然と都市ゾーンへのアクセスを兼ね備えた本市は、豊かな自然を守る一方、適切な環境整備も欠かせないと考えています。本日は皆様とともにアイディアを出し合い、よりよい日進市を築いていくための意見交換となることをお願い申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

■必ずこのアンケートを書いていただき、提出してほしい。提出先は各部屋いずれかか、事務局でお願いしたい。

■簡潔明瞭に質問やご意見をお願いしたい。お一人2分ぐらいで、難しいとは思うが、皆さんに発言してもらえるように協力をお願いしたい。漠然とした大きなテーマだが、テーマに沿って様々なご意見いただければと思う。

議会だよりに関して

◇議会だよりについて質問したい。裏面の議案採決の表で、反対の議員の理由が、全く書いてない。理由を明記していただきたい。また、長久手の議会だよりと比較すると、長久手は1ページに1.5人、日進市は1ページに4名。より良い掲載を検討して欲しい。

◆議会だよりも時代の流れとともに、ページ数を減らした。限られた文字数の中で入れることは非常に難しい。QRコードをつけ、そこから全文を見ていただけるよう配慮をした。市議会としても、持続可能な環境配慮と、時代に沿った情報発信の方法を目指している。

◇議会だよりに余白が多い。写真も無駄も多い。もう少し編集をお願いしたい。長久手はもっと予算は少ないのではないか。例えば、表紙を長久手は市の職員が撮影する。費用は一切かかっていない。

◆日進市の議会だよりは他の自治体と違って、議員が作成編集している。長久手は、市職員が撮影しているとのことだが、日進市は基本的に議員撮影または市民提供の写真をいただく形で、お金はかかっていない。編集に関しては私達の力不足をご意見賜って痛感した。これも議員が編集をしている。一層協議をする。

◇一般質問などは相当書いてあるが、議決内容の審議内容が一切書かれてない。各委員会の中で若干触れてるが、委員会の報告であって、各議案審議の報告が抜けてる。その辺の意識はどう考えているか。

◆日進市議会では議事録の全文および議会での映像を配信しており、確認いただける。文字の制限があって全部伝えきれない。どういった議決があり、可決否決をどの人が表明しているか、一般質問でどういった趣旨の質問をしてるかを目次的な形で掲載するに留まる。また、議会だよりに関しては広く多くの方々に見ていただくために、難解な文章や長文を避けるなど、議員で話し合いをしながら編集をして作成している。

◇議会としての役割は審議機関ではないか。その審議内容について報告する機会は議会だよりしかないのではないか。議会の中の長い議論を市民に逐一見てくれというのは現実的ではない。その辺に関してはどう考慮されてるのか？

◆年間の議案数が約100本程度出る。100本程度を限られた紙面の中で全てを盛り込むことは、やはり困難だ。十分な説明ができないと、間違った解釈につながる場合もある。気になる議案に関して、審議をQRコードから読んでいただいた方が、一番良いと考える。

国際情勢と市政の繋がりに関して

◇国際情勢の影響は政治活動にも影響してるのではないか。具体的にどんな影響があって、どう困るのか、市独自の話で済んでいるのかを教えて欲しい。

◆テレビ報道等であるような、国防や外交問題は、我々の意思で左右できることでなく、市政への影響はないかと思う。ただし国政としては影響がある部分もある。特に税制の部分、それから給付金などがある。例えば、直近では日進市議会においては、約1.5億円の物価高騰対策の給付金が降りてきた。そういった部分では影響がある。

少数派への配慮

◇ここにいる皆さんは多数派を形成していると理解している。多数派が市民を一番、配慮する必要がある。多数派の人たちは何に配慮すべきと思うか。

◆多数派少数派関係なく、市議会議員1人1人が、市民の方のお声をいただいて代表することが必要。例えば地区の要素が強い方は、その地区のお声を聞くことになるし、年齢が特出される場合は、その年齢を代表することになるかもしれないし、それはケースバイケースで、それぞれの意見を多数派少数派関係なく、1人1人が承って市政に届けていくと、そういうことが議員の役割ではないか。

◇議決をして議案が通って具体的な話が進むことは大切。しかし、ある程度、拮抗した議会運営をするような状況になった場合、基本的には、少数の意見をどれだけ取り込むかが、本来の多数派の姿勢ではないか。

◆個人的な意見はこの議会報告会ではそぐわないため、一般論を申し上げる。会派も集団であり、会派内でも議論をしている。その中で様々な意見を我々も聞いているし、他の会派を含めて日進市議会として多様な声を聞いている。

くるりんばすについて

□くるりんばすが、改変され利用者が落ち込む。この再編計画では市民の期待に応えられないと議会に請願を出した。改めて、再編後の市民の利用実態、市民の声を聞いてほしい。資料提供するので、各会派で議論し、くるりんばすの予算を増やし、台数とコースを増やす市民の期待にぜひ答えてほしい。要望書として各会派に届けるので、よろしくお願いしたい。

◇浅田に住んでいるが、同じ浅田に在住の福安さんは、バスだとどうやって市役所に来るのか？現状のくるりんばすでは、持続可能な社会の構成は難しいのではないか。

◆私は名鉄バスの中央線で来る。中央線の方がくるりんばすより安い。住むところによって利便性の良し悪しが発生する。名鉄バス、市バス、くるりんばす、自動運転バスこれらを組み合わせて、市内を網羅すべき。くるりんばす一択が解決策ではない。一番の問題はドライ

バー不足。くるりんばすの運転手も名鉄バスの社員の方をお借りして運営している。未来を見据えて、私たちは自動運転バスの実証実験に手を挙げ、実験している。

議会報告会に関して

◇民主主義は基本だが、皆さんは議会報告会をやらないので意見が聞けない。他の議員は議会が終わるたびに報告会をやっている。報告会を開いてほしい。

◆ご意見として伺わせて頂きます。

道の駅に関して

◇道の駅を建設で、設計図の修正や補正予算があった。道の駅はどのような経緯で賛成したのか？

◆前市長の萩野幸三市長が道の駅開駅を掲げ、その時の議会から審議している。当時から議会は賛同し、国や県に要請し、補助金を頂いている。市としても将来に向かってこの道の駅は大きな起爆剤となると議会においても承認された。

◇客が集まるか不安だが、皆さんが賛成した経緯を知りたい。特に工事の修正は納得ができない。10年後20年後に道の駅が成功しなかった場合、市議会議員は責任を取ることはできるのか。

◆審査の経緯は議事録から確認いただける。工事を進める中で、変更が生まれることは一般的にもあることで、予算変更は議会と執行部のルールに基づいて行われている。議会のやり方に沿っていて問題はない。議員任期の満了後に責任は誰も取れない。

◇道の駅の設計変更で鉄筋の直径を15㎜から18㎜に増加したが、どこの鉄筋を増やしたのか。

◆杭の補強の為に使った鉄筋。

３歳以下の入園体制を整えて

◇今日も子どもの面倒を見ている。長男は小2で、次男は2歳半。入園申請を4回したが入れない。持続可能な社会の実現には子どもが一番大事。3歳以下の入園体制を整え、希望する子どもが入園できるようにして欲しい。お母さんも働けて税収も増え、循環が生まれる。

◆市としても待機児童が無くなるよう私達もしっかりと対応を考えていく。園を増やすか、既存の園の人数をどう増やしたらいいかを、職員としっかりと今の課題を見つけて話し合う。

スポーツ施設料金値上げのバランスを考えたのか

◇テニスをよく行っている。総合運動公園や上納池公園が取れず、市外の公園を利用し、市外の料金体系は大体分かる。4月1日から市内の料金が上がるので、議会中継を聞いたが、料金設定のバランスが納得できない。受益者負担は分かるが、周辺都市とのバランスについて触れた答弁が全くない。料金体系のバランスをどう考えて賛成されたのか。

◆公共料金についての審議は、1つだけではなくトータル的なバランスで適正だと市議会で議論した。この問題については請願が出てくるため、その請願の趣旨を我々の委員会の方でも考える。

□財政調整基金が17億円ある中で、今回全部の値上げをして、プラス利益のところが300万円です。私はかなり精密な資料を作った。また請願の中で話す。

手話言語条例の制定進めて

◇日進、東郷、長久手、豊明のろう協の代表をしている。私は小中高と日進で育ったが、聞こえない者として理解をして貰えず苦しい思いをしてきた。社会に出てからはコミュニケーションの壁にぶち当たり、今も続いている。日進市には手話言語条例が無いので、聴覚障害者の福祉のために成立を考え動くことを要望する。

◆我々も考えていきたい。進めていけたらと思う。
◆手話言語条例が、各市町少しずつ進んでいるというお話なので、私たちも必要性を勉強して参考に進めさせていきたい。

□病院や学校の先生、公共施設の職員さんが手話を学ぶ機会を作って欲しい。手話奉仕員養成講座があるが少ないので、色々な所で手話を学べる機会があるのが大事。私は病院の受診の際、市役所に手話派遣をお願いして1週間後にやっと受診ができる。手話は言語だという市民の皆さんの理解をいただきたい。手話言語法を設置して欲しいが、国の体制は整っていない。法改正のため、先に自治体で条例を作る市町が増えている。議員の皆さんも音声言語と手話は同等の言語だと学びを深め、日進市でも進める協力をして欲しい。

機構改革について

◇機構改革の目的は何か。係制廃止で専門的に業務を行なっていけるか疑問だ。

◆市職員の処遇改善と市民へのスムーズな行政サービス提供につながると考えている。
◆公務員のなり手不足解消のため、働き方改革を進めていく必要がある。同時に専門性が発揮できる編成も当局にはお願いしたい。

スマートインターに関して

◇スマートインター建設について福祉関係の女性議員にお尋ねしたい。

◆周辺課題をしっかり調査していく。
◆病院周辺を大型車が通れないよう福祉ゾーンを設定した。周辺施設の利用増につながるものであり、近隣住民だけの利用に限らないものと考える。

西小学校移転について

□日進西小学校の建て替えが必要だ。移転候補先はハザードマップで浸水地域に指定されている。一度建てたら、50年、あるいは100年そこにある。本当にそれで良いのか危惧する。今西小があるところは、非常に良い土地。ここを生かしてくれないのか。説明会をもっと開くとか、防災の専門家を入れるとか、子供たちと住民の安全を考えていただきたい。

◆市に対し、しっかりと市民の意見、声を届ける、話し合いはできると思うので、我々も協力できるところは協力していきたい。

移動手段の確保について

□移動できる足がなければ希望する場所に行けない。免許返上しなければならない年齢になってきて、本当に自由に移動ができることが大切だとつくづく思うこの頃。ぜひとも好きなものを食べに行ける、楽しいものを見に行ける、聞きに行ける移動手段をぜひとも確保していただきたい。

■意見のみとのことなので、意見として承る。

緑地の保全について

□何十年と経つうちにどんどん緑が減って、このままでは緑地と住環境が維持できなくなるので、保全し緑を守ってほしい。

■意見のみとのことなので、意見として承る。

本市中長期財政計画について

□日進市の行政当局に対して中長期の財政計画の把握をするように働きかけてほしい。道の駅の建設後、赤池小学校の増設、西小学校なども建て替えないといけない。市役所の北庁舎建て替え、保健センターと、公共施設の老朽化対策は不可欠だ。将来の市の財政はどうなるか市民として不安。民間企業は中長期の経営計画を必ず2年に一度ぐらいは見直して作る。日進市には全くないような気がするので、議会から、計画を作らせるようにぜひお願いをしたい。

◆我々もしっかりと市へ言葉がけ、働きかけしていきたい。

道の駅について

◇道の駅の建設について反対の署名をした。理由は巨額のお金が出ていく将来像、この道の駅の将来像について、日進市の与党が、この道の駅将来像がどうなっていくのか、日進市の将来にどういうふうに良い影響を与えて、どう展開されていくっていうことを希望を持って、賛成されたのか。

◆人口減少が顕著な自治体がある中で、日進市はそうではない。余力があるうちに、市の活性化と歳入増加に繋がる政策をしないといけない。愛知郡の中心が日進市の本郷であり、この地域を一体的に盛り上げることに貢献できるのではないか。一宮市は道の駅を中止したが、前提条件が異なる。

◇道の駅が絶対必要か、それだけの税収がここで得られるのか。日進には企業がなく、今まで住民の税金で成り立ってきた。昔は収入の多い人が多く、企業がなくても十分にやれたかもしれないが、これだけ人口が増えて企業も大きいものが建たない中で、日進市の将来像をどう描いているのか。ただ心配の声がたくさん上がっている。道の駅はいつでも止められる。途中で止めたって構わないので考えてほしい。

◆心配をされるのは大変理解できる。将来人口は減る。日本だけじゃなく日進市も。今言われたように、多くの人に税金を払ってもらって日進市は成り立ってきた。生産する人間が減っていくために新しい税収の確保が必要だ。構成のための一つの策としての道の駅であり、スマートインターである。

◇道の駅で将来的に税収を得られるか、そこを説明してほしい。

◆まだ正確に出るものではないが、可能性は大きい。

◇試算として60億ぐらいの試算を出しているが、試算ではなく、厳密には月に収入30万しかない。借金返済に月額3000万だ。そこはわかっているのか。
（※各金額が何を示しているか不明瞭。月額の返済金額は実際は約600万円で誤認あり）

◆持続可能な将来に何が必要かを検討した際に、財源の確保が必要だと考えた。よって賛成した。

◇道の駅は財源になるのか。

◆あくまでも可能性の話である。

◇うまくいく根拠を求める。

◆未来に対する投資なので、これは完全にこの年までにいくら入るということは誰も言えない。

◇月に返さなければならない金額は、今は3000万円である。それをどう手当するのか。
（※月額の返済金額は実際は約600万円で誤認あり）

◆スマートインターも、企業誘致も新しい財源確保のための施策としてやっているということは理解してほしい。

□最初から赤字だ。

■別の視点で私は賛成した。道の駅は道路を利用した人の休憩施設だ。安全に運転して、安全に家に帰ったり、あるいはその先の目的地へたどり着くまでの休憩場所。出かけた際に、道の駅を利用し、感謝している。やはり日進市に道の駅・休憩施設があるということは、ドライバーにとってはとても安心できる環境だ。

□決めたからには責任を持って経営してほしい、道の駅の管理者に責任押し付けず力を皆もご支援していい組織にしてもらわないと困る。「我々が共同していい施設にするからという」一言を聞きたい。

■今日は貴重なお時間をありがとうございました。皆さんのご意見を伺いたいところですが、時間となった。アンケート未記入の方は、ご記入をお願いしたい。
ありがとうございました。